

〈対象地区や周辺の概況〉

- 聖天山古墳を含む聖天山公園（近隣公園、1.6ha）と正圓寺により一団の緑が構成されている。
- 公園の中央部には、シンボリックなクスノキの巨木が見られる。

〈土地利用現況〉

- 区域内は、正圓寺境内と聖天山公園で構成されている。
- 地区の周辺では、東側に松虫中学校があるが、基本的に戸建て住宅地となっている。

〈風致地区〉

- 地区の全域が、聖天山風致地区に指定されている（図面は3ページのとおり）。

〈景観計画〉

- 地区の全域が、「大阪市景観計画」における基本届出区域のうち、一般区域に含まれている。
- 地区の全域が「上町台地景観配慮ゾーン」に指定されている。

凡 例	
	保全配慮地区区域
	一戸建て住宅
	長屋住宅
	共同住宅
	販売商業施設
	業務施設
	文教施設
	医療厚生施設
	遊興・娯楽・サービス
	宿泊施設
	工業施設
	供給施設
	運輸通信施設
	官公署施設
	その他の施設
	公園・緑地・お墓
	建物のない土地



【地区の航空写真】



【土地利用現況※】

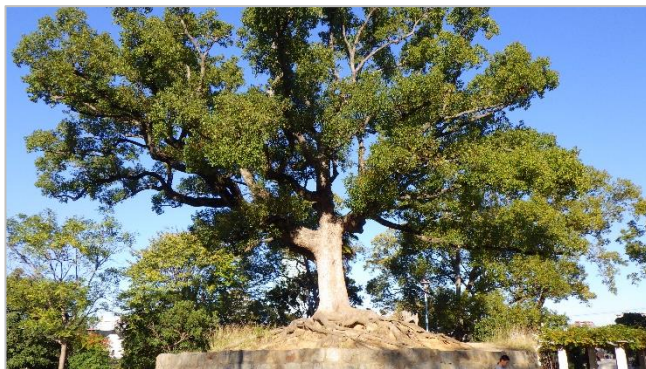
※マップナビおおさか『令和3年度土地利用現況』に一部追記



※Google Earth上で保全配慮地区の区域を重ねて表示

〈聖天山古墳〉

- 大きなクスノキが植わっており、公園のシンボルとなっている。



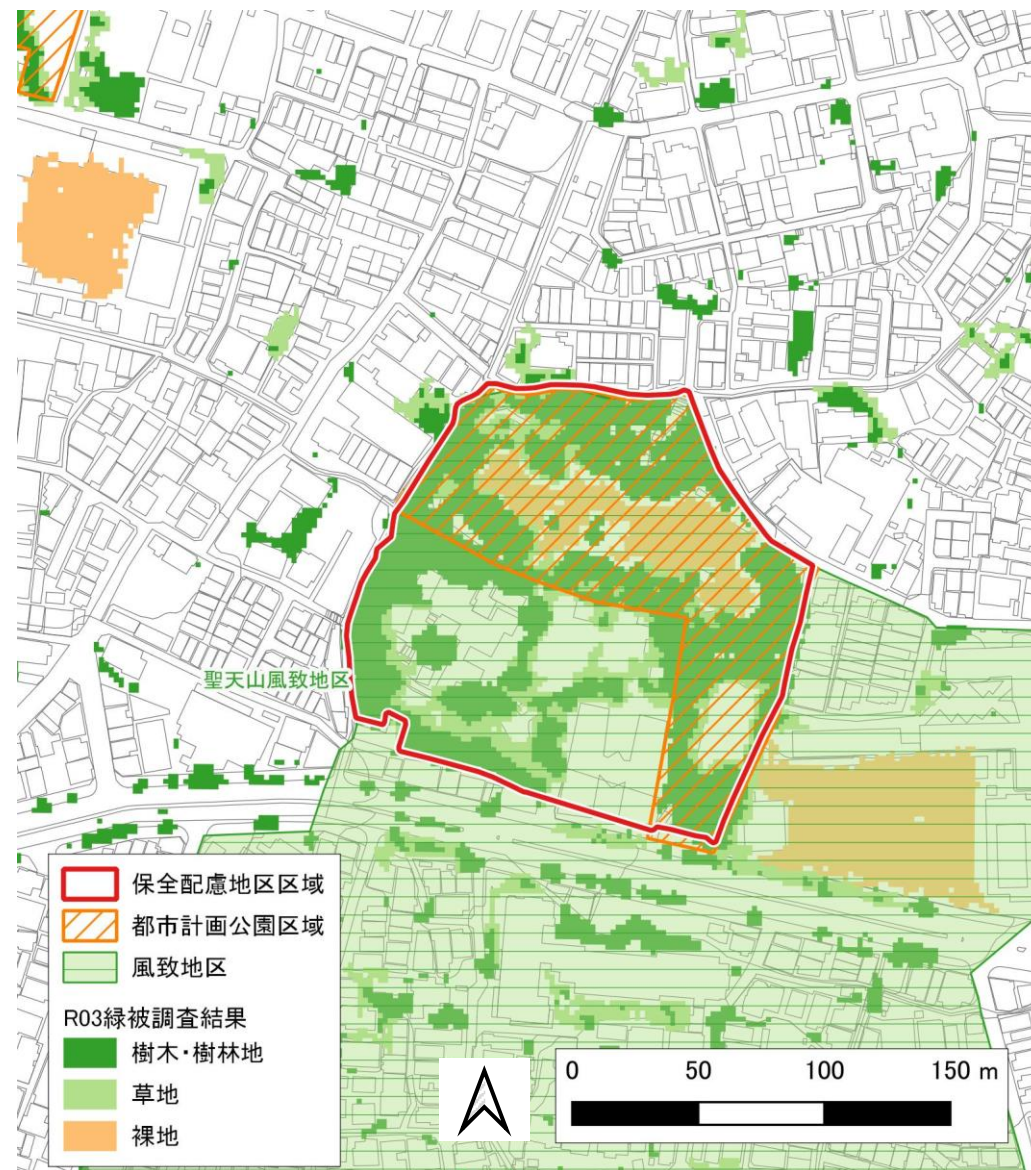
〈正圓寺境内〉

- 建物周辺を取り囲むように大きな樹木が見られる。



〈広場空間〉

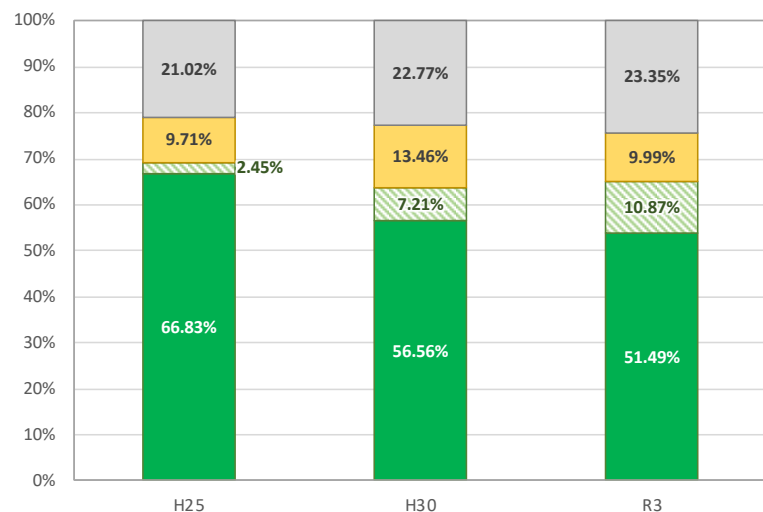
- 休憩施設や遊具があり、地域住民の憩いの場となっている。



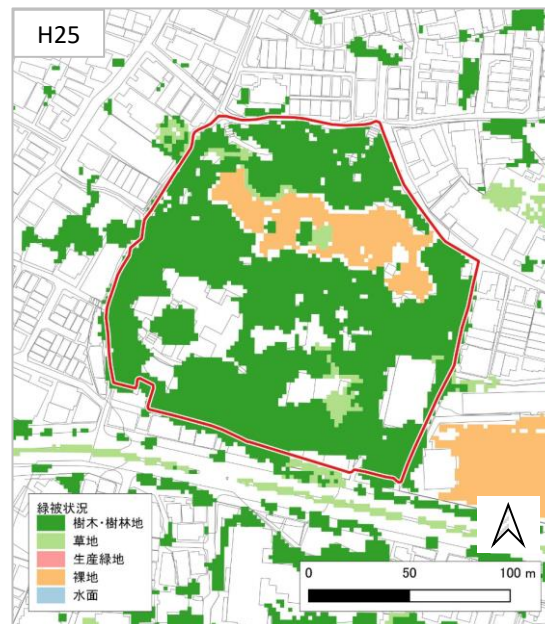
【みどり資源の位置図】

〈緑被の状況（H25～R3）〉

- 地区内の緑被率（樹木・樹林地、草地）は70%以下で推移している。
- 内訳をみると、樹木・樹林地の面積が減少し、草地の面積が増加している。



■ その他
■ 裸地
■ 水面
■ 草地
■ 樹木・樹林地



〈地区の課題〉

① 開発圧に対するみどりの保全

…開発によるみどりを減少を防ぐために、開発圧に対する保全策が求められる

② 効果的な情報発信

…当該地区が保全配慮地区であると十分に認知されていないことも考えられるため、現地やWeb等での効果的な情報発信が求められる